

# 仮面ライダーディレン ド

希望の忍者

## 【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

## 【あらすじ】

悪神による娯楽に生命を落とされた転生者は『神殺し』という偉業と禁忌を果たし、生きる為に誰にも利用されない為に強くなる。

その者は、支配者か強奪者か

それとも傍観者か

或いは輪廻を司る者か

1つ確かなのは、その者は……

【仮面ライダー】

# 目次

プロフィール	12
プロフィール 【第一段】	1



## プロローグ

青年「……………んツ……あれ？此処は一体何処だ？」

とある青年は真っ白で何も無い空間に一人で目覚めた。

青年「確か、バイクで高速道路を走っていてそれから……………あつ！思い出した。反対車線からトラックが突っ込んで来て、一か八かバイクを地面ギリギリに傾けてトラックの車体下に滑り込む様に躲したんだだけ？」

今思えば咄嗟だったとは言えよく出来たし実行しようと思えたな……………」

空間にいる前の出来事を思い出す。その内容は、とあるスパイ映画アクションシーン顔負けの走行テクニクに自身も驚いていた。

青年「出来ればもうやりたくねえし、つか事故なんて起きてほしくねえけど……………つかその後だよな。」

後ろから大きな爆発音がしてそこから記憶が無い。

んで……………一体此処は何処で何なんだ？」

??? 「フフフ、ここが何処かって話か？」

青年「えっ？」

青年が突如と声のする方を見上げるとそこには……

情欲を唆る衣装に身を包んだ絶世の美女。  
艶のある長い黒髪は紫の色にも見え髪を一つ編み込み、その瞳は紫水晶アメジストの瞳をしていて自然と吸い込まれる。

僅かもない衣で張りのある乳房や濃艶のうえんな腰を覆い、シミの無い褐色肌を大胆に惜しみにくく晒している。

金銀を使った冠サークル、耳飾り、首飾り、胸飾り、腕輪と足輪など、装飾品の輝きも相まって妖艶な魅力を兼ね備える。『女王』という単語を連想させる程だ。

『女王』は椅子をまるで玉座につくように座ってスラリとした美しい脚線を描く足を組む

その目は嘲笑う様に語り、

煙管をふかしていた。その光景はまさに妖艶な魅力

青年「目の前の者から感じるこの気配、そして人とは思えない程の否人では到達出来ない肢体）……まさか女神ですか？」

??? 「ほう、人間にしては見る目があるじゃないか。その通り私は女神、名は『イシユタル』」

青年「イシユタル!!? 確かアツカド神話に出てきて古くは『エシユタル』と呼ばれ、イシユタルはその後に呼ばれた名の女神で、メソポタミア神話においては広く尊崇された愛と美の女神で、他にも娼婦の守護者だとされているだけか?」

イシユタル「ほう。神話に関しての知識もあるのか……中々良いではないか」

青年「それでイシユタル様、一体此処は何なのですか?」

女神「フフフフツ 普段なら教えるつもりは無いのだが、お前その洞察力と博識に免じて教えてやる。此処は『輪廻の間』と言って輪廻転生を管理したりする所だ」

——輪廻転生。他にも転生輪廻てんしょうりんねとも言い、死んであの世に還った靈魂（魂）が、この世に何度も生まれ変わってくることを言う。

ヒンドウー教や仏教などインド哲学・東洋思想において顕著だが、古代ギリシアの宗教思想（オルペウス教、ピタゴラス教団、プラトン）など世界の各地に見られるけど、輪廻転生観が存在しないイスラム教においても、アラウイー派やドゥルーズ派等は輪廻転生の考え方を持つ。

そう辞書に載っていただけははず。

イシユタル「この輪廻の間は『死と再生』を司る神、又はそれに関連する神々が管理している。我もその一柱なので今回は私が任されている」

青年「輪廻転生という事は、俺は此処にいる時点で死んだって事ですか……」

イシユタル「……そういう事になるな。何？死んだって言う実感湧かないのか？」

青年「はい。死ぬ前に覚えているのはバイク走行中に反対車線からトラックが突っ込んで来て、一か八かバイクを地面ギリギリに傾けてトラックの車体下に滑り込む様に躲しました。ホントに咄嗟だったとは言えよく出来たし実行しようと思えましたよ。その後には後ろから爆発音が聞こえてそこからの記憶がありません」

青年は死ぬ間際の出来事をイシユタル様に答える。

そしてイシユタル様が気になる一言が返ってきた。

イシユタル「……トラックは手を加えたとして、まさかトラックの燃料タンクに引火して大爆発し吹き飛ばされた車に押し潰されるなんてな。悲惨だな圧殺なんて……」

青年「はあ………ん？待つて『手を加えた』？イシユタル様!! 『手を加えた』って」

どう言う事ですか!!」

イシユタル「あつ! ……でも今更隠す必要も無いか。我もねこんな事をして  
いるが、神々は退屈で仕方が無い……だから適当にクジで決めて退屈しのぎで運命を操作してみた。そしたら偶然にも輪廻の間に来る人間ばかりだったから、それなら別に仕事しながら退屈しのぎにもなるから思いの外辞められなくなつてな。今回も輪廻の間に来るはずの人間の運命を操作して手を加えてみたが、トラックの躲し方は愕然した

し、それ以上に興奮もした。まさか運命操作に干渉が効かない人間が居るなんて思っただけが、まさかその後の爆発で死ぬなんて……お前もあんまり大した事無かったな」

青年「……………」

青年は啞然とし静寂に包まれた。自分の死が目の前にいるイシユタル様の退屈しのぎだった事に……………」

青年はとある神話の1頁を思い出す。

——神の生命は永遠。故に退屈で常に娯楽を求めている。

とある神は自分より下等な世界を盤上版としその世界の生命を駒としその盤上版で遊ぶと。

青年の中で目の前にいる美の女神イシユタルは自分の退屈しのぎの娯楽を楽しむ悪神悪女だと認識する。

青年「と言う事はあれか……あのトラックも爆発もお前の仕事って事か？」

イシユタル「トラックは我だが、爆発は全くの偶然だ。まあそのお蔭でこの輪廻の間に居るんだからいいじゃないか？」フウーーーーー

イシユタルは悪びれも反省も詫びの色も無く、何事もなく煙管をふかす。

それが青年の引き金を引くきっかけとなった否なってしまった。



この時イシュタルは今迄感じた事のない感覚が体を支配し身動きが出来なくなる。イシュタルを支配した感覚、それは《恐怖》イシュタルは絶対的強者の覇気による恐怖に心身共に縛られていく。

最早イシュタルは命声の懇願しか出せなかった。

イシュタル「やつ!! 辞めろ!!! ヤメロロロロオオオオオオツツ!!!」

青年「ツハアアアツ!!!」

青年の憤怒を滾らせた拳は神イシュタルの身体を穿いた。

この瞬間青年は神殺しの偉業と禁忌を同時に成してしまった。

暫くして青年は自分がした事を漸く理解した。

自分は神とはいえ人の姿をした者を殺したんだと。

そして人を殺した嫌悪感から込み上げてくる嘔吐に青年は吐いた。

また暫くしてこれからどうするべきか悩み臉を閉じると自分の中に力が流れている感覚が感じられた。

青年は半分本気で半分冗談で試してみる。

青年「俺に特典という生きる力を戦う力を俺にくれー!!!」

青年は大きく手を広げ顔を上に向け大声で叫んだ。

——特典の授与を開始します。よろしいですか？

YES／NO

青年「YESだ！」

と頭にメッセージ画面文字が浮かび、青年は迷うこと無く『YES』を選択した。

そしてYESと選択した特典は膨大で大分時間がかかったものの青年は特典を決め  
まとめた。

||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||

特典：『仮面ライダーに関する特典』《ライダーシステムとサポートアイテムの武器と  
ガジェットディメンションゲートの解説と開発頭脳と開発技術》と《地球の本棚》と

《オーロラカーテン》《強靱且頑健な身体》と《超回復》

称号：神殺しを果たした者・神喰い 《イシユタル》「十無尽蔵性欲」「十娼婦高度技術」  
「十魅了」・略奪者「十能力」・輪廻の輪「十先読み」「十未来予知」

||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||

青年「よし、早速試してみよう。《ライダーシステムの開発》この特典で俺だけの『仮  
面ライダー』を創造するんだ！」

青年は更に時間を費やした。何時間、何日、何週間と時間の感覚はとうに忘れ去り開



賞賛の声を上げた者は先程迄は居なかったはずのマゼンダのスーツを纏い顔は強顔で賞賛の際は異様なハイテンションをした、気配からして男神だと青年は感じ取ったが……青年はその男神の顔に見覚えがあった。

青年「貴方はまさか、鴻上こうがみ光生こうせいさん!?」

鴻上「ほう。私を知っているとは、君は中々の欲望を持っているようだね」

青年「嫌、欲望って程では……」

鴻上「否!仮面ライダーという力を欲する欲望!神話の他システム開発に携わる情報や私の個人情欲による知識欲に関する欲望!そして、イシュタルという神を殺しその神から力を奪った欲望!!実に、実に……素晴らしい!!!」

鴻上「その欲望は世界を変える!!!」そして私は君に祝いの言葉と新たなる世界への切符プレゼントしよう」

鴻上は何処から持ってきたのかケーキワンホールとそのケーキには蠟燭の代わりに大きな鍵がぶら下がっていた。

鴻上「新たなる『仮面ライダー』にハッピーバースデー!!!」

そして鍵は強い金色の光を放ち、青年を空間から消した。

そう青年は旅だったのだ。新たなる世界への扉へ、新たなる生の道へそして、仮面ラ

イダーとしての生き様を

一人残された鴻上は青年がイシユタルの力を奪った事を眩く。

鴻上「どうやら、彼は神殺しを果たしたイシユタルの力を奪い取った様だね。

実に素晴らしい!!!

正しく欲望の王に相応しい器だ!!

否、もしかすると彼ならあの魔王と同じ領域に至れる存在かもしれない……

楽しみにしているぞ○○○ ○○○君。

否【仮面ライダーデイルンド】後の魔王よ」

## プロフィール 【第一段】

オリ主の名前：○○○ ○○○

(現在、アンケート投票にて現在も募集中)

オリ主の容姿：日本人(極東・東洋人)特有の黒髪黒目。顔立ちは良い方。外見な細身だが、実際は長年鍛錬を怠らずにいた為筋肉質の所謂細マツチヨ。

(『落第騎士の英雄譚』の“黒鉄一輝”を参考)

趣味：ライダーシステムの開発。バイク走行。喫茶店巡り。料理(葉膳)。

服装：家では夏は甚平、冬はジャージ、開発は白衣。出かける服装スタイルはスーツと『操真晴人』スタイルが多い。

オリ仮面ライダー：【仮面ライダーテイリンド】

【世界の支配者】【世界の傍観者】【世界の輪廻を司る者】となっている。

オリ主は転生と言うより転移して、【仮面ライダーテイリンド】の力を得て、【ディケイド】と【ディエンド】同様様々な世界を旅する物語である。

その目的は……ライダーシステムを奪い、新たな仮面ライダーを創造する事で更なる事をする事としている。

変身アイテム：《デイリンドドライバー》。

・専用のカードホルダーから変身カードを取り出して変身者であるライダーの掛け声と共に《デイリンドドライバー》の胴部分の『ライドリーダー』ライダーカードの読み取り装置

《デイリンドドライバー》の持ち手の引き金を押して変身する。

※追加？《デイリンドドライバー》の胴部分にはリング状のダイヤルが付いており、それを回すことで自身を別の仮面ライダーに変身可能と、他の仮面ライダーを召喚する事が可能。

《デイリンドドライバー》のモチーフは『ウルトラマンオーブ』の《オーブリング》。

変身時のベルトの「バックル」は『デイエンド』の同様に自身の紋章レリウだが、バックルには自身の紋章の他に別の変身した仮面ライダーの紋章を認証する感じで変わる。

《カードホルダー》はそのまま『ウルトラマンオーブ』の《ウルトラフュージョンカードホルダー》。

【仮面ライダーデイリンド】容姿：

顔は【仮面ライダーデイケイド】と【仮面ライダーデイエンド】と同様にバーコード

状の縞々フェイスなどで額にかけて一本角のような三角状に揃えられ、その一本角の中央付近に縦長のシグナルポインターは黄色く複眼の色は赤く形状は目つきが悪い。（当初は「ウルトラマンベリアル」のイメージでしたが、現在のイメージは「ウルトラマンジード」の眼）

胸の装甲は『ウルトラマンオーブ』同様の装甲とリング状の中心核が目立つ。

【ディケイド】と【ディエンド】は同様に身体の両脇に色が別れているが、

【ディリンド】は胸部装甲より下を両脇を白い縦線で別れているが、色分けはされていない。

腰にはロープが足首より上にまで巻かれている。

【仮面ライダーディリンド】設定（スペース）

身長・192cm

体重・83kg

パンチ力・5t

キック力・10t

ジャンプ力・30m

走力・100mを5秒

(『仮面ライダーディケイド 激情』と同じスペック)

【仮面ライダーディリンド】設定へ特殊能力

『ATTACK RIDE』

【ATTACK RIDE：SLASH】

《ディリンドリング》を變形させた刀身にエネルギーを纏わせて斬る。

その他一時的に分身させ、一振りで数太刀の斬撃を浴びせる。

【ATTACK RIDE：AIRSLASH】

『SLASH』と同様に刀身にエネルギーを纏わせ斬撃を飛ばせる。

【ATTACK RIDE：REFLECT】

エネルギー攻撃を反射する。

【ATTACK RIDE：SWING】

《ディリンドリング》のリングが光り輝き、光の鞭となって変幻自在の攻撃を繰り出す。

時には相手や物を巻き付けて引き寄せたり、崖等の渡れない所を鞭を壁等に引つ掛けて渡ったりちよつとした移動手段になる。

【ATTACK RIDE:ILLUSION】

発動と同時に自分の姿を六つに増殖させ、相手を眩惑する分身技。このとき生じる分身たちもただの幻ではなく、

“ナイト”の『トリックベント』のように、（一度被弾すればそこで消えてしまう程度のかりそめのものだが）実体や攻撃能力を備えている。

【ATTACK RIDE:FLOAT】

身体を浮かせ飛ぶ事が可能。

飛びながらの戦闘が出来、飛行を得意とする相手に対策としての力。

『FINAL FORM RIDE』略してFFR

【ディケイド】は主人公ライダーをFFRをしていたが、【ディリンド】はダークライダーをFFRする事が可能。

例：『仮面ライダー王蛇』に【FINAL FORM RIDE】すると……  
 【OUJA BENOSUNE|KAKA】でSWORD VENTOから出したベノス  
 ネーカーの剣はFFRにより尻尾になり、

王蛇は契約モンスターである《ベノスネーカー》となる。

『フAINAL アATTACK ラRIDE』  
 [ フAINAL アATTACK ラRIDE ]  
 [ デID デID デIRIND ]

主な必殺技：

『デイメンションキック』

・粒子のカードを中心にその周りにはリング状のバーコードが縦一列に出現し、デイリンドはジャンプ（斜め上）すると縦一直線に並びカードもデイリンドに合わせて一直線になる。デイリンドは空中飛び蹴りの体制に入るとカードを透過しながら敵に蹴りを叩き込む。

『デイメンションスラッシュ』

・粒子のカードを中心にその周りにはリング状のバーコードが相手に向かって縦一直線に並び、突進してフィールドを通り抜け一つ一つエネルギーが刀身に込められ敵を斬りつけるパターンと、フィールドを通して強力な斬撃状の光弾を飛ばすパターンが存在する。

他には、発動時に縦一直線に並んだカードが《デイリンドリング》ブレイドモードにエネルギーが一気に流れ、斬り付けたら、斬撃を飛ばしたりするパターンもある。

『ディメンションブラスト』

・《デイリンドリング》にエネルギーが流れ、粒子のカードを中心にその周りにはリング状のバーコードが相手に向かって縦一直線に並び、《デイリンドリング》に流れ溜め込んだエネルギーを光輪にして飛ばすと、バーコードを通り抜けるに連れて大きくなり威力も増す。